

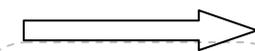
キク産地における安定出荷体制の整備支援

要約

葛城市は歴史あるキク産地であるが、高齢化による生産量の減少や販売単価の低迷等による所得の低下が大きな問題となっている。特に、特産品の二輪ギクは手間がかかる割に販売単価が低いいため、生産量の低下が著しい。また、産地として計画的な生産・出荷が行われていないことが販売単価の低下要因となっている。そこで、生産者の経営改善を図るため、JAならけん葛城花卉出荷組合に対し、県が育成した労力負担が少ない無側枝性二輪ギクの導入や、実需者ニーズに基づいた計画生産出荷体制の整備、産地戦略の検討、施肥作業の省力化等の支援を行った。

現状

- ・二輪ギク
出荷量 33 万本
うち県育成品種 5.1 万本
- ・キク全般
戦略品種の選定 60 品種



目標

- ・二輪ギク
出荷量 34 万本
県育成品種 6 万本
- ・キク全般
戦略品種の出荷
本数割合 30%

実績

- ・二輪ギク
出荷量 31 万本
うち県育成品種 4.0 万本
- ・キク全般
戦略品種の出荷本数割合 29%

活動内容

- ・二輪ギク
実需者ニーズが最も高い9～10月咲き品種の計画生産出荷体制の整備支援
無側枝性品種の導入推進（県育成品種の普及、民間育種支援）
市場へのお荷事前情報提供及びPR資料作成等支援
- ・キク全般
戦略品種の生産強化に向けた生産者への啓発活動、検討会の開催
ミスギクの肥培管理実証試験の実施（省力的なペレット肥料による減肥栽培試験）

成果

- ① 二輪ギク
 - ・天候不良等の影響により出荷量は前年度を下回ったが、割り当て生産の推進により1戸当たりの作付数量を増加させることができた（H27：5.9千本 → H28：7.1千本）。
 - ・天候不良等の影響により県育成品種の出荷量は前年度を下回ったが、5品種が営利生産されるようになった。また、民間育種業者との連携により初めて民間育種無側枝性品種を出荷することができた。
 - ・市場へのお荷事前情報提供や、ポスター、パンフレットの作成・配布等のPR活動支援を行い、販売単価を向上させることができた。
- ② キク全般
 - ・戦略品種の出荷本数割合を29%にすることができた。また、次年度の戦略品種を82品種（H28当初60品種）に拡大して有利販売に取り組むことへの合意を得た。
 - ・施肥作業の省力化と施肥量の削減に向けた肥培管理実証試験を実施し、省力的なペレット肥料を用いて減肥栽培を行っても商品性に問題がないという結果が得られた。



県育成無側枝性二輪ギク「千都の風」



産地単独協議会



PRポスター

普及活動のポイント

産地のブランド力を向上させて有利販売を図るには、特産品である二輪ギクの安定出荷体制の整備や積極的な市場への情報提供・PR活動を行うことが重要であると考え、それらが実践されるよう継続した啓発活動や具体的な方策を提示するなどして生産者への意識付けを行った。

対象の変化

継続的な啓発活動により、二輪ギクの生産強化や有利販売に向けた取組の必要性に対する生産者の意識に変化が見られ、1戸当たりの作付数量を増加させることができた。

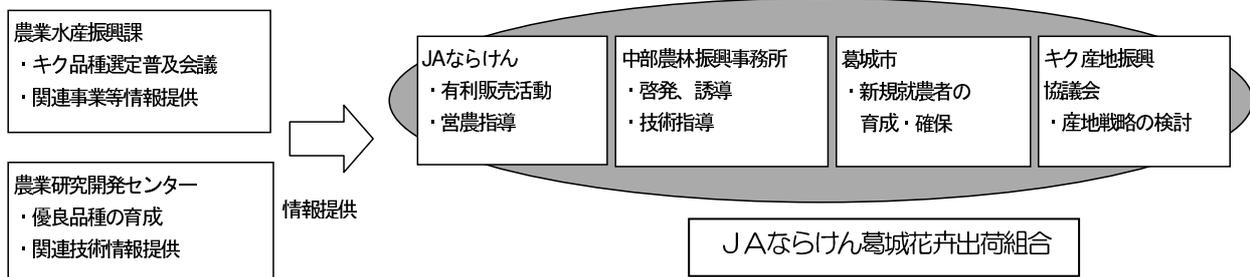
対象者からのコメント

産地の生き残り策として、特産品の二輪ギク等をしっかり生産・販売していくことが重要であることから、今後もそれらに向けた継続した支援をお願いする。

これからの活動ビジョン

- ・ 県育成品種の普及推進等による二輪ギクの生産量の拡大支援
- ・ 計画生産の強化と継続した市場への出荷事前情報提供・PR活動による有利販売支援
- ・ 単独品種の生産強化や産地戦略の策定支援

活動体制



用語解説

二輪ギク：1本の莖に二つの花を咲かせる中輪のキクで、主にいけばなの花材として使われている。二輪にするためにわき芽や余計な蕾を摘み取る必要があり、労力負担が非常に大きい。

無側枝性二輪ギク：わき芽の発生量が少ない特性を持つ二輪ギクで、労力の大幅な削減が可能である。

戦略品種：有利販売するために組合として計画的に生産、出荷する品種。